



# 4月のえんだより

## ～笑顔あふれる育ちのひろば～

令和4(2022)年4月25日  
社会福祉法人 見真会  
明光保育園

野山では青葉が美しく、さわやかな風が吹き渡る季節となりました。

当園では、満開の桜の下、3月26日の卒園式では19名のピカピカの小学1年生を送り出し、4月2日の入園式では14名の新たな園児をお迎えしました。4月7日には在園児みんなで進級式を行って、門出を祝い、新たな出会いの中、今年度の保育園生活をスタートしました。

子どもの最善の利益のため「笑顔あふれる育ちのひろば」を基本理念に掲げた新たな運営体制も3年目を迎え、①心身ともに健康な子ども、②主体的に行動する子ども、③自己肯定感を育む子ども、④心豊かで感謝の気持ちを備える子どもを「目指す子ども像」として、子どもたちを真ん中にして、一人ひとりの個性や特性を大切に育みながら、保護者の方々とともに、地域の皆さんに見守られ、日々の成長に寄り添い、支え合い、喜びを共有できる保育（養護と教育）を専門性を活かしながら、チーム全体で進めていきます。

このうち、養護では、安心、安全な環境を確保し、伸び伸び生活できるように、一人ひとりに愛情を注ぎ、職員との愛着・信頼関係を築いていきます。

教育では、職員の専門性を活かしながら、一人ひとりの特性を踏まえて、子どもの健やかな成長と活動がより豊かに展開されるよう発達を支援していきます。

一方で、新型コロナウイルスの感染者数は下げ止まりが続いています。当園では、これまで幸いに園内感染は発生していませんが、感染者や濃厚接触者は報告されています。

また、感染者の多くは感染の経路が分かっていません。このため、子どもたちの感染防止、休園やクラス閉鎖を防ぐため、独自の登園自粛や再登園基準を設けるとともに、感染状況に応じた行事の中止、縮小などの対応を行っていますので、ご理解とご協力をお願いします。

- ・業務執行理事・事務長 白木 正昭
- ・理事・園長 米田 公子
- ・園長代理 原田 奏世
- ・主任 奥崎 由起子
- ・幼児主任 蒲生 亜由美
- ・乳児主任 石崎 匡世
- ・リーダー 相原 朝子
- ・しほ組担任 本岡 はづき
- ・あお組担任 細川 裕加里
- ・き組担任 島崎 愛佳
- ・もも組担任 今田 千栄
- ・あか組担任 金井 尚美
- ・副担任 倉留 貴子
- ・ひよこ組担任 森戸 紀久恵



卒園式記念写真



ピカピカの1年生が来園！



大きな、大きなランドセル！

- ・保育士 山崎 弘美, 松本 裕子, 東田 友希, 高山 真由子, 道本 香, 加藤 百華(育休中)
- ・栄養士 酒井 愛季, 佐々木 麻衣
- ・調理員 重高 理恵
- ・保育補助員 植本 清枝, 河原 理紗, 大田 りん, 乃美 ひかる

### 毎日元気に過ごそう!!! ☆園児の健康管理のお願い☆

子どもたちが元気で園生活を送るために、毎朝、健康状態の確認をお願いします。登園前には必ず検温し、連絡ノートに添付しているカレンダーに記入してください。体調がすぐれない場合は、医療機関を受診させてください。

体温が37.5度以上、その他全身状態（顔色が悪い、食欲がない、だるそうなど）が不良のときは、登園を自粛してください。

また、体温が37.5度以上あったときは、解熱後24時間以上が経過し、呼吸器症状が改善傾向となるまでは、登園をお断りしています。

同居のご家族に同様の症状がある場合にも、登園を自粛するようお願いいたします。

医療機関で感染症と診断された場合は、必ず担任にお知らせください。

感染症が治癒して登園する場合には、登園基準があります。感染症の種類によって、保護者の「登園届」又は医師の「意見書」の提出が必要です。

詳細は、「入園のしおり（重要事項説明書）」、「新型コロナウイルス感染症に係る出勤・登園の基準について」を参照するか、担任にお聞きください。

★子どもたちは、新しい環境や緊張のため、疲れが出やすくなります。いつもと様子が違うときは、必ず担任にお知らせください。



### 給食(食育)について

食育・健康支援担当:酒井, 佐々木 栄養士

当園では、独自のメニューにより、休日保育を除き、職員が調理した昼食とおやつを提供しています。多彩な食材を使用し、栄養の確保とバランスの取れたメニューとするとともに、季節を感じられるように旬の食材を取入れたり、行事や地域の伝統を意識したメニューづくりを行っています。

また、「食を営む力」を育むため、食育活動の一環として、野菜づくりやクッキング（お手伝い）を導入したり、手洗いなどの衛生知識の徹底にも取り組んでいます。

みんなで楽しく食べることで「食の大切さ」を知って、「給食は、おいしく、楽しく、大好き!!!」と思ってもらえるように創意工夫を進めています。



日	月	火	水	木	金	土
4月24日 休日保育	25 身体測定週間	26	27	28 誕生日会 こどもの日の会	29 昭和の日 休日保育	30
5月1日 休日保育	2 夏も近づくと 八十八夜 ♪♪	3 建国記念日 休日保育	4 みどりの日 休日保育	5 こどもの日 休日保育	6 天気の良い日を中心に 園外保育を行います	7
8 休日保育	9 春野菜紹介 (白,青,黄, 桃組)	10 豆のさやむき (青組)	11 白,青,黄組の園児は弁当を持って来て下さい。	12	13	14
15 休園	16	17 体操の広場 (白,桃組)	18 避難訓練	19 遠足 (白,青,黄組)	20 遠足予備日 (白,青,黄組)	21
22 休日保育	23 身体測定週間	24 体操の広場 (青,黄組)	25 誕生日会	26	27 交通安全教室 (白,青,黄組)	28 

4月園だより担当  
保育士:奥崎, 倉留 栄養士:佐々木 編集:事務長 白木

電話 (082) 823-0366  
アドレス info@kenshin-meikou.jp

【ひよこ組 0歳児 2人】担任:森戸

—笑顔 あふれる ひよこぐみ—  
ようこそ、明光保育園に！  
一人ひとりにいっぱいの愛情を注ぎ、食べる、寝る、排泄などの生理的欲求や、うれしい、楽しい、悲しいなど心理的欲求を満たしながら、心地よく、安心して生活できるように、保育士との愛着関係を築いていきます。

その中では、体の動きや表情、発声、喃語（なんご）等に「どうしたの」「〇〇なのね」と優しく受け止めるとともに、見る、聞く、触れるなど五感を働かせた探索を通して、身近なことに興味を向け、自分でやってみる気持ちを育みます。

子どもたちの日々の成長を保護者の方々と一緒に見守り、支援し、喜びたいと思います。

【白組 5歳児 19人】担任:本岡

—しっかり考え 「じぶん」から動く—  
憧れていた年長児になり、自分たちが「保育園で1番大きいんだ！」というワクワクした気持ちと自覚が見えます。  
身体を動かす、作品を製作する、歌を歌う、楽器を演奏するなどの様々な表現を楽しむ活動を通して、個性を発揮して、試行錯誤を繰り返しながら、自信を持って、集団生活の中で一人ひとりが認められながら、協調する大切さ、協力してやり遂げる達成感を満たすことができるよう支援していきます。  
就学に向けて、自分のことは自分です、自分の思いを言葉で伝える、文字や数に興味を持つ、地域に関心を向けたり、「自分で考え、行動する力」が身に付くように支援していきます。

クラスの紹介

【赤組 1歳児 16人】担任:金井, 副担任:倉留

—泣いて 笑って 「じぶん」がいちばん—  
新入園の9名を迎えて、16名でスタートしました。  
まだまだ涙いっぱいの子もたちが、早く安心して笑顔いっぱい生活できるように、一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、声をかけたり、遊んだり、支援していきます。  
楽しく食べる、安心してぐっすり眠る、遊びを楽しむ、気持ちよく体を動かす、色々なものに興味を持つことなどを通じて、自分の欲求や思いを出せるよう支援し、自我の芽えを育てていきます。  
「じぶん」でいたいという気持ちを大切にしながら、スプーンで食べる、スポンや靴を履く、帽子をかぶるなど、身の回りのことは自分でできるように支援していきます。

【青組 4歳児 19人】担任:細川

—やさしいところ— ~「じぶん」と「あいて」のきもち~  
身の回りのことが自分でできるようになりました。  
自分の思いを相手に伝える中で、ぶつかり合いながらも、少しずつ相手の思いに気づくことができるように導き、それが相手への優しさや思いやりにつながっていくように、一人ひとりの思いに丁寧に寄り添い、受け止め、手を差し伸べて、安心して自分の思いや能力が発揮できるよう支援します。  
「なんだろう!」「やってみよう!」と興味を持ち、挑戦する意欲を大切にし、クラス全体で遊んだり、力を合わせる楽しさ、共に過ごす喜び、みんなで物事をやり遂げる面白さや達成感を感じられるように見守り、支援していきます。

【桃組 2歳児 17人】担任:今田

—走って 跳んで 元気なからだ—  
自分の気持ちを少しずつ言葉で伝えることができるようになり、自分でできることも増えています。保育士やクラスのみなどと安定した関係の中で、保育園生活を一緒に過ごす心地よさを、感じられるように支援していきます。  
朝の準備や片付けなど、身の回りのことを自分でしようとする気持ちを育て、基本的な生活習慣を身に付けていきます。  
保育士が仲立ちをしながら、みんなと一緒に楽しいね、面白いねと思えるように園児同士の関わりを広げていきます。  
園外活動を取り入れて、走る、跳ぶ、登る、押す、引っ張るなど、体を動かし、しっかり楽しみながら、元気で健康な体を築いていきます。

【黄組 3歳児 19人】担任:島崎

—「じぶん」だいすき 友だちだいすき—  
新たに2名を迎えました。  
少しずつ「自分でできる」を増やして身の回りのことが、一人ででき、生活習慣として身に付くように、一人ひとりの成長に合わせて支援します。  
また、園児同士の信頼関係を育みながら、居場所を作り、安心感の中で、クラスみんなで過ごす楽しさを感じられるように、集団での遊びや活動を積極的に増やしていきます。  
「自分はステキ!」「一人でできた」という自己肯定感を大切に育み、一人ひとりの興味や関心を理解し、発展させることで、何でも自分から「やってみよう!」という気持ちが育つように支援していきます。

☆職員の専門性を活かした支援担当制によるチームで保育を推進します☆



①知識能力(知育)支援担当:原園長代理

子どもたち一人ひとりが持っている知的能力を高めるため、数量や図形、文字などに親しむ体験を重ね、様々なものを見たり、考えたり、扱ったりしながら、発達段階に応じた興味、関心を引き出すよう支援します。

②創作・造形支援担当:奥崎主任

多くの作品を鑑賞したり、素材に触れたり、色々な技法を使いながら創作への興味を広げ、感じたこと、イメージしたことを表現して、作ったり、描いたりを通して、豊かな感性を養うとともに、作品展や共同製作を通して、みんなと一緒に作る楽しさ、形になる喜びを感じられるよう支援します。

③運動機能支援担当:蒲生幼児主任

健康な体を作っていくため、戸外に出て遊ぶ機会を増やし、遊びをとおして運動機能の基礎(歩く、走る、跳ぶなど)を身に付け、遊びを中心とした運動活動を支援します。

④言語表現支援担当:石崎乳児主任

誰とも自然とあいさつができ、自分の気持ちを言葉で相手に伝え、人の話にも興味を持てるように、身近に絵本に触れる環境を作り、読み聞かせを通して、多くの言葉を知る機会を増やし、豊かな表現力が身に付くよう支援します。

⑤音楽表現担当:相原リーダー

発達に合わせた音楽や歌を取り入れ、心地よい音楽に触れ、リトミックや楽器遊びを通して、音楽に親しみリズムに合わせて体を動かすことを喜んだり、表現することをとおして、豊かな感性や表現力が育まれるよう支援します。

⑥食育・健康支援担当:酒井, 佐々木栄養士 今田 もも組担任

食を営む力を培うために、発達段階に応じて豊かな食の体験を積み重ね、子ども同士の関わりの中で楽しく食べ、食や栄養、健康への関心が高まるように支援します。  
紙芝居や絵本などを通して、手洗い、うがい、かぜの予防など健康に必要な習慣や知識が身に付くよう支援します。

⑦園芸・栽培支援担当:米田園長

栽培計画を立て、土づくり、種や苗植え、水やりをしながら、成長を見守り、観察し、葉や花の変化に気づき、収穫の楽しさや命の大切さ、不思議さに気付くよう支援します。

⑧安全教育担当:石崎乳児主任, 蒲生幼児主任

危険を察知し、回避する能力と安全のためのルールを身に付けて、見通しをもった行動ができるよう支援します。